

テーマ：Web3・DAOがもたらす世界
～Web3の基礎から地方創生まで～

講師：峯 荒夢氏 株式会社ガイアックス web3 事業本部 本部長



日程：2023年10月31日

インターネット＝Web1.0：Read、ソーシャルメディア＝Web2.0：Read & Write、そして誰が持っているかを特定する情報をブロックチェーンで書き込むスマートコントラクトの技術によってRead, Write & Own（所有）できるようになったのがWeb3.0である。DAOはこのスマートコントラクトを使ってルールを形成し、システムを自動化した組織形態だ。このルールに賛同していれば誰でも参加でき、自由に抜けることも可能。何か達成したいビジョンを掲げ、それに共感するユーザーが集まり、課題解決に向けた仕組みをルール化し、活動への報酬インセンティブを作る、この四つの要素で持続的な活動を促していく。

人口800人を切った山古志村では錦鯉 NFT を販売し地方創生の原資とする山古志 DAO を立ち上げた。NFT 購入者はデジタル村民票を与えられ村の自治に投票することができる。ガイアックスでは美しい村連合の鳥取県智頭町と静岡県松崎町の「美しい村 DAO」のシステム開発とコミュニティ支援を行っている。デジタル村民となることでガバナンストークンによる投票権、コンテンツ企画の権利が得られる。例えばお祭りの特別体験 NFT 企画が立ち上げれば、投票で決定し、販売報酬は企画者や関係者に支払われるルールだ。次々と企画が回り地域経済が潤う連鎖が起きている。DAO は地方の関係人口と原資を増やし、持続可能にする新しい地方創生の形だ。

2015年よりブロックチェーンの研究開発に着手し、情報サイトBlockchain Bizを運営。2022年より企業や自治体に対してDAO組成の伴走サービスを開始。鳥取県智頭町・静岡県松崎町らとの「美しい村 DAO」のシステム開発や、早稲田大学・芝浦工業大学などと連携し、スマートシティへ向けたLiDARネットワークの開発も行う。ブロックチェーンの国際標準を策定するISO/TC307国内審議委員会委員も務める。

DAOの概要

それぞれの組織の違い

- 会社
中央集権・人が中心
- サロン
分権・人が中心
- DAO
ルールが中心

DAOのシステム

DAOとは新しい組織の仕組み

DAOは組織の中心に「人」ではなく「ルール」がある組織

意思決定は全員による投票で行う

図3 DAOはルールを中心にした全員投票で意思決定を行う自律分散型組織

Nishikigoi NFT

地方創生の資金調達

- 山古志の地方創生NFT
- このNFTはデジタル住民証となる
- ジェネラティブNFTという手法を使用
 - 少しずつ違う画像を生成する方法
 - NFTの唯一無二性を担保する
- 数量限定で販売(目標1万人)
- 集まったお金で地方創生を行う
- 現在約1,000人のデジタル村民がいる

図4 NFT販売により限界集落の関係人口と原資を増やす山古志 DAO

図3及び4：株式会社ガイアックス